奈良町にぎわい通信

Vol.8

二〇一五・十二月号

発行
奈良町
にぎわいの家

佐久間宗成社中による茶会。
立礼式でゆったり。

坂本古楽コンソートによる古楽器のレクチャーコンサート。
ライブならではのお話と音色が
町家と共鳴するような。

町家講座は庭がテーマ。
皆さん、庭作りの参考にと熱心に。

かまど体験の女子大の皆さん、外に出たら、
あら？王寺町のキャラ、雪丸くんが！！

奈良町にぎわいの家　11月のイベントから

季節料理講座は
奈良のっぺと茶飯。
素朴な味わいに
体もほかほか。

奈良人形の名人で、にぎわいの家からすぐに住まいした
森川杜園の物語を朗読劇に。満員御礼！！

奈良町の作家シリーズvol. 3
染と彫刻の世界～中井由希子＆加藤晴久

朗読劇「杜園語り」

大津　昌昭

森川杜園（もりかわ・とえん）の名は、明治のころ、奈良の町ではだれにも親しまれていた。が、現代、この名を知っている人の方が少ないのはどうしてだろう。

彼は絵師・狂言師・奈良人形師、つまり芸三職の人であった。若いころから多くの師に恵まれ、人としての生き方を考えさせられ、美的感覚を磨かれていった。絵師の内藤其園、狂言師の山田八郎衛門、国学者の穂井田忠友、奈良奉行の梶野良材、歌人の伴林光平など、当時一級の文化人たちで、それを思えば、彼の人となりにも作にも、日本の伝統的文化が深く刻まれていると見てよい。

この度の朗読劇は、にぎわいの家総合プロデューサーの小野小町氏が、拙著「芸三職・森川杜園」から特に師たちとの関係を抜粋し、1時間半ものに脚色したものである。

オーディションにより選ばれた小学2年生から76歳までの15名の声優たち。十分な回数ではなかったが、練習ごと年齢や経験のちがいを乗り越え、はっきりした滑舌、豊かな声量、心情の吐露に向けた発声など、いかにも森川杜園の実像に迫る表現に仕上げていったその過程もすばらしかった。

奈良町にぎわいの家では、二十四節気オリジナルスタンプと節気ごとの歌で皆様をお迎えします。

短歌…喜夛隆子（歌人・ヤママユ編集委員）／書…逢香（奈良教育大学）

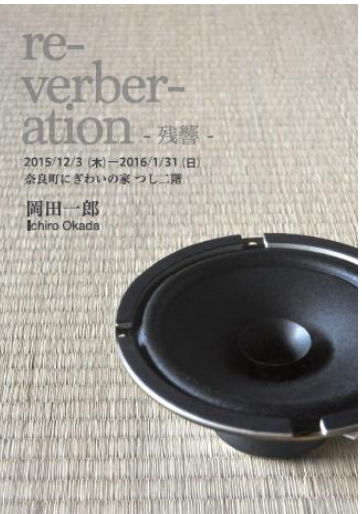
はつ雪の便り北より山地より　小雪けふも大和はもみぢ

初雪の便りが、北の地方や、山地から聞こえてくるが、小雪の今日も、大和では紅葉を楽しんでいます、というお歌。奈良は同じ県内でも、北部は雨でも南部は雪といったことも多いですが、各地の豪雪の話を聞くたびに、大和国原の冬の穏やかさを思います。紅葉に名残を惜しみつつ、冬が静かにやってきます。

奈良町にぎわいの家
二十四節気
オリジナルマーク「小雪」
デザイン・金田あおい

つし二階・現代アート企画
reverberation - 残響
開催中！！

奈良町在住アーティスト、岡田一郎氏が
町家ならではの作品を制作！
つし二階に流れる音は、ここ、にぎわいの家の
暮らしの音…。
ご自身も町家住まいの岡田氏ならではの
音空間の創造…。
ぜひ、つし二階で体感下さい。～1／31まで。
（コーディネート…奈良アートプロム）



作家メッセージ

吊り下げられたスピーカーからは、この家で録音した音が流れています。
それらは、扉の開け閉めや鍵をかける音、床の軋みなどここで生活していた人がたてていたであろう音たちです。
これらの音を手掛りに、この家にかつてあった生活に思いを馳せてみてください。
（2015 12.03 岡田 一郎）

事務局だより

2015
12月号

音風景から思うこと

事務局長　藤野正文

奈良町にぎわいの家では11月のイベントも終わり、年末・年始に向けた準備が始まっております。開館一年目の試行錯誤の日々でしたが、本年は多くの皆様方のご支援等を頂き、また、多くの方々の来訪もあり、誠にありがとうございました。

10月末から新たな試みを始めた表屋のつし二階での現代アートの常設展も年末、年始にかけて地元奈良町在住の岡田さんの音の作品の展示をしています。町歩きの喧噪から離れて、天井の低い畳の間にたたずみ、それぞれの感覚で作品を楽しんで頂けたらと思います。

現代に生きる私たちは音を静かに聞く感覚を失いつつある、音に対する感性が鈍くなっていると思っています。テレビから流れ出る音、街に出れば車の騒音、スピーカーから無差別に聞こえるアナウンス・音楽。

ほんの少し前は、近所の子供たちの遊ぶ声、お店の会話、お商売の機械音、まな板で食事の準備をする音、お隣さんの洗濯の音、テレビを見ている歓声、夫婦げんかの会話？、路地を歩く靴音、カラスの声、犬の遠吠え、風が木々を揺らす音、もちろんお寺の鐘の音など、様々な日常生活の「音」が、まち中に聞こえていたのではないでしょうか？

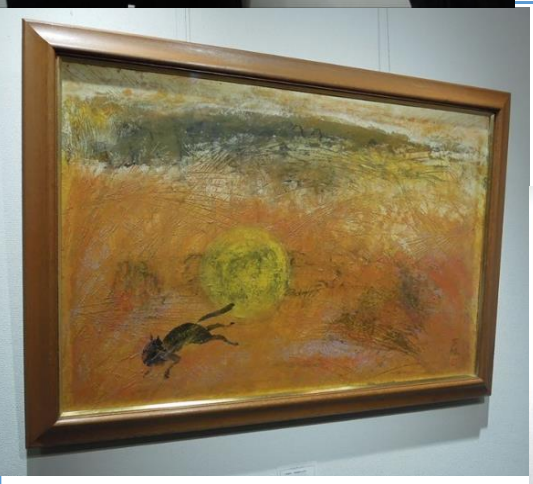
音というのは、聞こうとしないと聞こえないとも言われています。音に限らず臭いや視覚で見えるものも含め、そこに暮らす人の気配や自然の営みなどが感じられる風景にこそ、健康で、安全で、豊かな「まち」を形づくる原点があるような気がしています。懐かしい音もあり、こころ安らぐ音もあり、こころ踊る音もあり。こころさわぐ音もあり。

まず、少し前の音風景を思い浮かべ、鈍ってきている生活環境に対する感性・感覚を呼び起こすことが、まちを将来的に豊かな地域にすることにつながっていくと思っています。

奈良町にぎわいの家は皆様の「ふと振り返る場所」・「気づきの場所」でありたいと願っています。

年末特別展
万葉の画家～岡橋萬帆の世界
詩情あふれる日本画の世界が！

岡橋様、展示にご協力いただきありがとうございました。



「天の香具山」

大和の地霊の声を感じるような、深みのある代表作の数々。

「三輪飛ぶ（桧原）」

「磐余池慕情」

「益田岩船」

奈良町にぎわい通信vol.8

制作…奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人…二十軒起夫
編集・構成…おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト…福田昭一
撮影…奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家　9:00～17:00　水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5　TEL 0742-20-1917
nigiwainoie@gmail. com
http://naramachi-nigiwainoie.jp/

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから

十二月の節気

大雪　12/7～
雪は本格的に

冬至　12/22～
日の長さ最短

大雪といっても、奈良では実感がわきませんね。
加えて今年は暖冬とのこと。エルニーニョという海水温が高い状態が続いているそうです。
めりはりのある四季が遠のくのも温暖化のせい？